

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

第 5 報
千葉県農林水産部
平成27年7月30日

「ふさおとめ」の成熟期は8月6日から予測 地域や品種による生育進度の差が大 ほ場ごとに適期の水管理と収穫を

[生育概況]

4月20日頃に移植した「ふさおとめ」「ふさこがね」「コシヒカリ」の出穂期は平年より5～7日早くなっており、成熟期は早いところで「ふさおとめ」は8月6日頃から、「ふさこがね」は8月12日頃から、「コシヒカリ」は8月19日頃からと予測されます。

また、5月1日頃に移植した「コシヒカリ」の出穂期は平年並から平年より3日早くなっており、成熟期は早いところで8月28日頃からと予測されます。

なお、平年と比較して7月上旬は気温が低く日照時間が少なかったことなどから、移植日にかかわらず地域や品種による生育進度の差が見られています。

表 1 品種別の生育進度と成熟期の予測

品種	植付時期	出穂期の 平年比較	成熟期予測			
			県北 (成田市)	九十九里 (茂原市)	内湾 (千葉市)	県南 (館山市)
ふさおとめ	4月20日頃	早	8月12日	8月7日	8月6日	8月6日
ふさこがね	4月20日頃	早	8月18日	8月13日	8月12日	8月14日
コシヒカリ	4月20日頃	早	8月24日	8月20日	8月19日	8月22日
	5月1日頃	やや早～並	9月2日	8月28日	8月31日	8月30日
ふさのもち	4月20日頃	早	8月22日～			
	5月10日頃	並	9月1日～			

※成熟期予測は、水稻作柄安定対策調査ほの調査結果から、各品種の出穂期から成熟期の標準的な日数を加えて予測

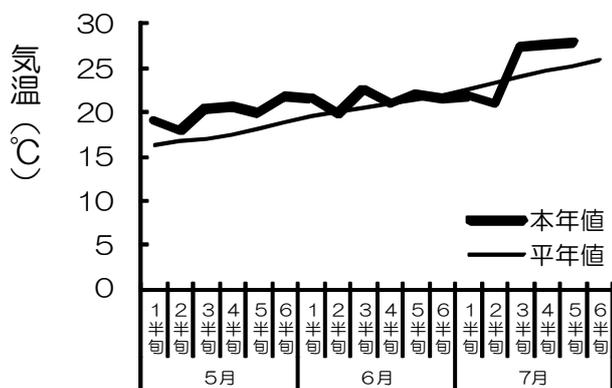


図 1 日平均気温の推移 (アメダス、佐倉)

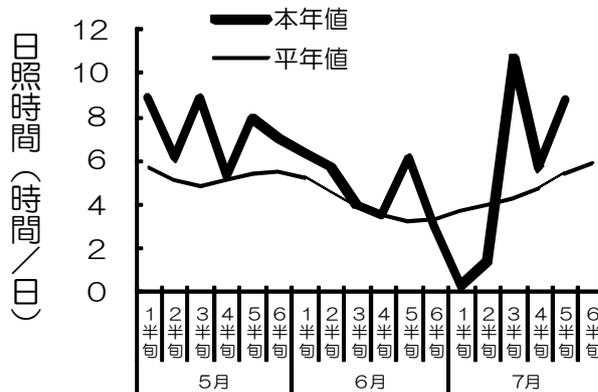


図 2 日照時間の推移 (アメダス、佐倉)

[これからの管理のポイント]

■ 適期作業の実施

今年、地域や品種による生育進度の差が見られ、また7月中旬以降は気温が高く推移しており、登熟の進みが早くなる可能性があります。

乳白米の発生を防止する水管理や良品質米の生産に向けた収穫は、ほ場をよく見て、生育に応じて適期に実施しましょう。

■ 乳白米の発生を防止する水管理

8月1日頃からの1週間は、引き続き気温が平年よりかなり高くなると見込まれており(気象庁発表)、乳白米の発生に対する注意が必要です。

○ 出穂2週間後までは湛水管理

出穂期から出穂2週間後は、米の品質を決定する重要な時期です。登熟期の水不足は、乳白米等の白未熟粒の多発生による品質低下の原因になります。湛水管理をしっかりと行い、品質低下を未然に防ぎましょう。

※自然由来のカドミウムの吸収を抑えるためにも必要な技術です。

○ 出穂2週間後から出穂25日後までは間断かんがい

出穂2週間後から出穂25日後までは間断かんがいにし、徐々に田面を固め、コンバイン収穫に備えましょう。なお、早期落水は、品質低下を招く原因となるので止めましょう。

■ 適期収穫～良品質米の生産のため適期に収穫しましょう～

収穫は、登熟状況を十分に観察し、帯緑色籾歩合15%の時にいきましょう。

(注：帯緑色籾数は生育中庸な10株から主稈と思われる茎の太い穂を選び、不稔籾を除いて数えます。図3参照)

なお、収穫期の目安は、出穂期(全穂数の40～50%が出穂した日)から「ふさおとめ」で33日前後、「ふさこがね」で37日前後、「コシヒカリ」で38日前後です。

早刈りでは青未熟粒、刈り遅れでは胴割米等が発生し、品質・食味を低下させます。

また、収穫した籾を3時間以上炎天下に放置しておくと、品質が低下します。収穫後は速やかに乾燥しましょう。

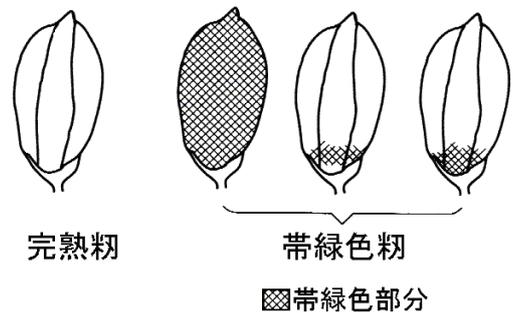


図3 帯緑色籾の見分け方

少しでも緑色の部分があれば、帯緑色籾として数えます。

■ 乾燥は丁寧に、仕上げ水分は適切に

高温による急速な乾燥や過乾燥等は胴割れ米を発生させ、品質・食味を低下させます。乾燥は平均毎時乾減率0.7~0.8%で行い、仕上げ水分は14.5~15.0%とします。

また、乾燥終了直後の、粳の温度が高い状態で粳摺りを行うと、肌ずれ米や胴割米を生じるので、十分に放冷し、温度を下げてから行いましょう。

■ 選別には 1.8mm 以上の網目

粒厚1.8mm以上の米は粗タンパク含有率が低く、おいしいお米です。粒が小さい米の混入は粗タンパク含有率を高める原因になるので、選別の網目は1.8mm以上にしましょう。

また、大粒が特徴の「ふさのもち」については、1.9mm以上にしましょう。

■ 異品種混入の防止

異品種の混入を防止するため、品種切り替え時は、コンバイン、乾燥機、粳すり機等をていねいに清掃しましょう。

■ 生産履歴記帳

「売れる米づくり」に栽培管理の記録は不可欠です。集荷団体では、出荷に当たって「生産履歴」(栽培管理記録簿)の提出をお願いしています。もう一度記録簿を確認しておきましょう。

基本技術を励行し、信頼されるおいしいちばのお米を生産しましょう。

生育進度の差が大きい様子



図4 ふさおとめ(4月20日植え)
8月6日頃に成熟期を迎える見込み
農林総合研究センター(千葉市)7月29日撮影



図5 コシヒカリ(5月1日植え)
8月31日頃に成熟期を迎える見込み